

あがとかんきょうほぜんかい
上戸環境保全会（伊那市）

• 組織の活動面積	A = 102.08 ha
• 組織の構成員数	約 250 人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成26年～	平成26年～	平成26年～

構成員	上戸区、南部実行部、北部実行部、上戸水利組合、梨の木水利組合、上戸ファーム
-----	---------------------------------------

上戸集落は伊那谷に位置しますが、松本藩の所領であったため近接する川から水がとれず、明治9年に奈良井川源流の白川より「木曾山用水」を引水し、以来脈々と稲作づくりを行っています。
非農家の構成員が65%を占める混住化が進んだ地域ですが、先人たちが苦労を重ね知恵を出して作り上げたレガシーを守るため、従来からの保全活動を基軸に、構成員全員が参加できる共同活動を目指し組織運営を図っています。

制度の啓蒙 → 構成員の参加促進 → 地元へ貢献できる実践

【保全活動】



農道法面の草刈り(機動的に実施)

【共同活動】



スマホのGPS機能を使った荒廃地の保管理

【長寿命化活動】



雨のたびに水が溢れた水路の更新



長年手の付かなかった水路の泥上げ



小さな子供からお年寄りまで、毎年大勢の構成員が参加する植栽活動



水路エゲート弁の取付け



構成員の要望を叶え、ため池に安全柵を設置



アレチウリの駆除



他地区から視察研修